

私の探鳥地（51）（野鳥だより146号2006年12月）

## 札幌市篠路周辺

横山加奈子

鳥を見始めて10年になります。野幌や西岡、円山などの探鳥会へ参加し、名前や鳴き声を廻りの方々に教えてもらいながら覚えてきました。

退職して時間があるようになり改めて自宅の周りを歩いてみると、山や大きな森はないものの篠路周辺にはたくさん川があります。この内の3箇所が私の探鳥地となりました。



札幌市篠路周辺地図

一番良く行くのは篠路3条10丁目にある五ノ戸の森緑地です。ここはグリーンピア篠路を造成する時に屋敷林と伏籠川の河川敷の湿地に沿って残っていた自然林を緑地に整備した所です。そのためケヤキ、サイカシ、ヨーロッパクロマツ、イチヨウ、メタセコイヤなど北海道には自生していない樹をはじめトドマツ、キタコブシ、ハルニレ、ヤチダモなどの他クリ、スモモ、ナシなどの果樹が大きく成長し、春一番にはカタクリ、エゾエンゴサク、ニリンソウ等の花々も見られます。4月になりこれらの花が咲き始めるころ親鳥の帰りをひたすら待っているポヤポヤ頭のアオサギのヒナがあちこちで見られるようになります。青空に生える親鳥の冠羽はとてもきれいで思わず見とれてしまいます。肉眼でヒナまで良く見えるところは他には少ないように思います。

ここで子育てをするカラ類、アカゲラ、ムクドリ、コムクドリ、アオジ、アカハラなどが見られます。タイミングが良いとルリビタキ、オオルリ、キビタキ、シロハラなど通過する鳥に出会えます。ヤマグワ、ミズキ、ハリギリ、ツルマサキ、アキグミなど実のなる木が多いので秋もたくさんの鳥が寄ってきますし、冬にはシメ、カケスなどの他アトリ、レンジヤクがくることもあります。

また、緑地のすぐ横に伏籠川と田琴似川の合流点もあり、堤防沿いにはヤナギ類、エゾニワトコ、オオイタドリなどが繁り、ノビタキ、オオジュリン、ホオアカ、オオヨシキリ、コヨシキリなど草原の鳥がお気に入りの枝に止まり、今年も来たよと力いっぱい声で囀っています。川では冬の初めまでマガモ、カイツブリ、カワアイサなどが見られます。

伏籠川や創成川が合流する茨戸川には発寒川も流れています。東屯田川遊水地はその発寒川とつながっている小さな池です。マガモがいつもいますが時にはハシビロガモ、コガモ、シマアジ、オカヨシガモなどがいることがあり、発寒川と遊水地を行き来しています。周りは畑なのでカワラヒワ、ヒバリなどが多く見られます。石狩市緑苑台側の堤防では近くに人家がないせいか五ノ戸の森緑地の周辺で見られる草原の鳥のほかにノゴマが加わります。カワセミ、カッコウ、アリスイがいることもあります。

冬は創成川ウオッチングです。昨年、偶然橋からオオバン 2羽を見つけたのがきっかけです。1月にオオバンがなぜ？他にもいるかもと茨戸川の合流点まで行く途中で更に2羽見つけました。今年は2羽確認しています。創成川は凍らないのでマガモ、カワアイサ、ミコアイサ、カイツブリを初めヒドリガモやホオジロガモがいることもあります。3月上旬頃に凍っていた川が溶け始めると殆んど見られなくなります。

以上が篠路周辺の私の観察地です。五ノ戸の森緑地の周辺には住宅が増えてきましたが森の鳥と草原の鳥、水鳥が見られるこの環境がいつまでも守られ、安心して子育てができる場所であってほしいものです。